

	<p>練馬大根だけじゃない！ 生産量都内ナンバー1の練馬産キャベツを使った 練馬野菜ぎょうざ食べ歩きキャンペーンを開催！</p>
<p>と き</p>	<p>キャンペーン11月15日(金)から12月末(区内産の秋キャベツ出荷終了まで)</p>
<p>と ころ</p>	<p>区内キャンペーン参加飲食店(区内飲食店15店舗)</p>
<p>15日から、都内ナンバーワンの生産量を誇る練馬産キャベツを使った練馬のB級グルメ「練馬野菜ぎょうざ」の食べ歩きキャンペーンを開催する。主催は、練馬区観光協会(会長・篠利雄)と東京練馬野菜ぎょうざ王国(国王・内田克美)。</p> <p>期間中は、練馬産キャベツがたっぷり入った大きさ12センチのジャンボぎょうざや、餡に鶏肉とレンコンを加えたさっぱり味のヘルシーぎょうざなど、キャンペーンに参加する飲食店が考案した、個性あふれる「練馬野菜ぎょうざ」を味わうことができる。</p> <p>キャンペーン期間中、各参加店のオリジナルぎょうざを紹介する「練馬野菜ぎょうざ食べ歩きマップ」1万部を練馬区観光案内所(練馬駅地下1階)や区立施設などで配布。また、マップについているアンケートに答えて応募すると、抽選で20名に練馬区観光協会プロデュースの元祖「練馬野菜ぎょうざ」(冷凍)3パックがプレゼントされる。</p>	



【食べ歩きマップ表紙】

【練馬野菜ぎょうざとは】

23区で最大の農地面積を持つ練馬区は、収穫量2,148トン(平成23年産)と、都内ナンバー1のキャベツ生産量を誇る。練馬といえば練馬大根が有名だが、区内の作付面積はキャベツが最も多く、キャベツは練馬の農業を象徴する野菜。そこに着目した練馬区観光協会は平成21年、区内産キャベツをふんだんに使った特産品「練馬野菜ぎょうざ」を開発した。

そして、地元で愛される練馬の新しいご当地グルメとして、「練馬産キャベツを使用していること」、「餡の重量におけるキャベツの割合が3割以上」などの条件のもと、各店舗が独自の「練馬野菜ぎょうざ」を提供する食べ歩きキャンペーンを、平成22年秋から開催している。キャンペーンは、毎年キャベツのシーズンとなる春と秋に開催され、今回で7回目。



【練馬野菜ぎょうざ食べ歩きマップ】

同協会では、参加店を紹介した食べ歩きマップ1万部を発行し、練馬区観光案内所(練馬駅地下1階)や区民事務所、出張所、図書館などの区立施設および各参加店舗で15日から配布する。

マップには、店舗案内のほか、各店のこだわり具材や意気込みが紹介されており、店舗選びの際の参考となる内容だ。

担当者は、「マップを利用して各店舗を食べ歩いて、練馬区のご当地グルメ練馬野菜ぎょうざのおいしさを知ってほしい」と話している。



【問い合わせ】練馬区観光協会事務局 電話 03-5984-1032